

大支援研研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座の報告

ICT プロジェクト夏期講座事務局 平峰 厚正

2013年8月15日（木）、16日（金）に開催された大支援研研究部ICT活用プロジェクト夏期講座について、参加された方々の感想をもとに報告させていただきます。

夏期講座の内容は、今年度も支援機器製作講座、自作ソフト製作講座（Flash）、支援教材活用講座（iPad、DAISY等）、教材作り講座（エクセル活用、ワード活用、パワーポイント活用等）、ICTの活用に関する講演に加え、支援機器の展示会を実施しました。

今年度も各講座に参加された方々からは、少人数体制で講師の先生と参加者が身近にじっくりと活動できたことや、最新のICT活用方法と活用状況を教えてもらえたこと等、たくさんの喜びの声を頂きました。

今年も大阪支援教育コンピュータ研究会のご協力を頂き、講師紹介から講師派遣、また、前日及び夏期講座実施中の二日間、連日に渡ってのスタッフ派遣等、準備段階から実施当日まで多数の方々の協力をいただきました。本当にありがとうございました。

昨年度に引き続き、会場を大阪府教育センターで実施しました。2日間の参加延べ人数は、275名（15日123名、16日152名）でした。

夏期講座に参加した方々から多数のアンケートを頂きました。有難うございました。アンケートを元に今後も「9月から使える支援教育でのICT活用」を目指して、開設講座の選定と運営の改善を図っていきたいと思っています。

各講座の様子

A 講座

講演「インクルーシブ教育システム構築のための ICT の活用

～障害者差別解消法と合理的な配慮での支援技術～

講師：金森 克浩 先生、ゲストスピーカー：丹羽 登先生



1. 感想

- 長い教師生活の中で今年度初めて支援学級の担任になりました。一からの勉強と思いこの研修に参加させていただきました。支援に対する深い部分のお話を聞かせていただき自分の無知を痛感しました。専門的な言葉だけが自分の頭の中を行きかっていた。ちょっと私には難しかったです。知識という面でもっと努力がいることも知りました。ありがとうございました。
- 金森先生の久しぶりの硬派の話、丹羽先生の話、現在の状況がよく分かりました。
- バラバラだった法令関係の情報が整理されてよかった。丹羽先生の参加がサプライズで、とてもラッキーでした。質疑応答の時間が充分とれてよかった。
- 基礎的環境整備、ユニバーサル化、合理的な配慮について、質疑応答より理解が深まりました。最新の支援教育関係の動向についても話を聞くことができ勉強になりました。ありがとうございました。

B 講座

講演「これからの支援教育での ICT 利活用を考える」

助言者：丹羽 登 先生 講師：大島 友子 先生



1. 感想

- 様々な先生方にいろいろなお話をしていただき、とても参考になりました。合理的配慮やインクルーシブなど、これからの特別支援教育は、次々と変わって行くと感じました。少しでも子どもたちの学校生活が豊かになっていけばいいなと思いました。ディスカッションで、悩みについて、みなさん日々がんばっておられるなど実感しました。これから私もがんばりたいと思いました。
- リラックスしたムードで司会進行がとても良かったです。グループ討議では、お一人お一人の思いや考えが短い時間の中で聞かせていただけて良かったです。丹羽先生のお話からも、（支援教育の）動向を聞かせていただき、障害の捉え方、考え方について、考えさせていただけただけでも良かったです。
- グループディスカッションがあると分かった時は、「嫌やなあ…。」と思いました。が、実際やってみると得るものが多く良かったと思いました。ICTは、子どもたちの可能性を広げる重要なカギだと感じました。自分には、どんなことができるか考えていきたいと思います。
- 楽しかったです。金森先生の講座とセットで、障害者差別解消法および合理的配慮について、よく考えることができました。ありがとうございました。また、office365の紹介もありがとうございました。

講座 C

講義「マルチメディア DAISY の紹介と事例報告」

講師：田中 直壽 先生



1. 感想

- 実践事例が具体的にあり、ソフト使用の効用が実証的で分かり良かったと思います。ICTによるサポートが、子どもの自信、意欲につながることで改めて分かり、教育現場で今後使用していけばと思うことができました。教材を頂けてありがたいです。
- 自分が以前勤務していた中学校でも読み書きが苦手な学習に対して無気力、自己肯定感が持てず、生活全般がルーズになっている生徒がいました。当時は、こちらができる学習支援としては、やはりプリントなどを使った繰り返し学習程度と教師の姿勢に頼らざるを得ませんでした。その頃にマルチメディア DAISY のような教材があったら、その生徒達ももっと楽しく学習に取り組めたのではないかと思います。「自分ができないことを他者に知られたくない」というのは、思春期の生徒がよく持つ感情です。反抗的な態度をとっていても「読めるようになりたい」「書けるようになりたい」という要求は高いものです。普通学級にも様々な困難を抱えた児童生徒が数多くいます。そういった子ども達が少しでも楽しく学習に取り組める環境が高まっていけばいいと考えました。
- DAISY の話を聞いた人がいいよ…というのを聞いて今日は受講した。実際、見せてもらい…おみやげももらいうれしいです。

講座D

講義「発達障がいのある子どもの学習支援～具体物とITCの相互補完的活用～」

講師：近藤 春洋 先生



1. 感想

- 学習の問題を脳の機能からとらえていくということをはじめて聞いたがわかりやすく、なぜできないかが理解できた。ドリルは向上しないので、どうしたら…と思っていたが、その理由と具体的な支援方法が聞いてよかった。
- 今、悩んでいたこと（算数指導）のヒントをもらえた気がしました。来てよかったです。ありがとうございました。
- 算数障害と脳の関係について、とてもよくわかりました。近藤先生のお話を聞いて、新しい教材のアイデアが浮かびました。2学期から使ってみようと思います。
- 計算はできるけれど式を作ることができない子どもたちが多くいますが、その理由がすっきりとわかったような気がします。とてもわかりやすかったです。「なるほど」と思う指導方法を教えていただいたので、2学期の学習に役立てたいと思っています。
- 脳から見た学習という部分を入れていただいたことで、頭の中で算数障がいのことが整理できました。ドリル学習が主流になっている学校が多い中、脳との関わりを示していただくことで、何故、ドリルだけではだめなのか、どうすれば理解させることができるのかが、とてもよくわかりました。ソフトだけでなく具体物の操作だとかたくさんさせることが大事になるというのもわかりました。ありがとうございました。たくさんの先生に今日の内容を知ってもらいたいです。

講座E

講座「iPad と Keynote で教材作り」

講師：根本 貴明 先生



1. 感想

- 2学期より、支援学級にiPadが1台入ってきます。はじめてiPadを使うために基本的な使い方からとてもいねいに教えていただきましたので、たいへん勉強になりました。たくさんおアプリも紹介していただきましたので、使いたいと思います。たいへんよかったです。ありがとうございました。
- iPadの活用の仕方がよく分かりました。授業で使えるようなアプリもたくさん教えていただけだったので参考になりました。
- 興味深いアプリをたくさん知ることができました。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。iPadは、初めてだったので難しかったですが、使いこなせたら、素晴らしいと思いました。
- 具体的な説明をていねいにしていただいて、とてもよい講座でした。ありがとうございました。
- 今日の実習でkeynoteとロイロノートが使いそうです。ありがとうございます。

講座 F

講座「視線入力装置の活用事例の紹介と体験会」

講師：鈴木 真知子 先生、伊藤 直弥 先生



1. 感想

- 鈴木先生のお話はとても丁寧で初めて知ることたくさんあり、大変勉強になりました。視線入力装置を実際に使用されている様子を目の当たりにできて、実感できました。
- 岡本先生の視線入力は最後の手段ではないというお話に共感しました。私が視線入力を考えている子どもさんは四肢麻痺と知的障害がありますが、社交的な性格でしかしアテトーゼのような過緊張が何かしようとするとき出てくるので、もっと安楽な方法であいさつくらいできればと思って受講しました。もしかするとすごく合っているかも…?!と思いましたが、やはり高価なのでなかなか…デモ機を貸してくださる制度はないのでしょうか。
- マイトビーの可能性がわかり、学校にも導入していくべきだと思う。
- 保護者の多くは、知的障害がなければ普通学級へ入学させるべき…という考えを持たれているようで、そこは、そういうことではないということを、もっと理解してもらえるようにしないといけないと感じました。支援学校でも普通学級と交流できる機会をたくさん持っています。そういう機会を持ちながら、一人ひとりに合った勉強法を日々練っています。そこを、もっと理解してもらい子供たちのために何が一番良いのか、どこに重点を置くべきかを考えていけたらと思います。視線入力装置は大変良い技術だと感じました。一番ストレートに子供の素直な気持ちや意欲を引き出せるものだと思います。これに加え、手が使える子は、手で操作できるものを。表情で自分を表現できる子は、自分でしっかり伝える、また、こちらも気づくなど、機械を間にはさまなくてもできることは自分でやっていく、ということも、しっかり考えていなくてはならないと感じました。

講座 G

「Flash 講座 クリック教材から選択教材へ
～Flash でスキャン教材ソフトをつくろう～」

講師：竹島 久志 先生、吉村 史郎 先生、古川 和朋 先生



1. 感想

- 授業や教材で Flash を使ってみたいと思っていたので、とても勉強になりました。
- これまで避けてきた所で、今日、おもいきって参加できて、視野が広がって良かったです。
- 難しかったのですが、Flash 教材を使ってみようという足がかりになりました。
- Flash の使い方やクリック教材の活用など楽しんで取り組むことができた。質問などにも詳しく答えていただいて、わからなくなった時もすぐに解決することができました。今後、色々な教材作りに生かしていきたいと思います。遠い所からありがとうございました。
- ていねいに教えていただきよかったです。なかなか普段、ゆっくり Flash にとりくむ時間がなく、この機会に教えていただいてよかったですと思いました。

講座 I

Flash 講座 「ActionScript3.0 でマッチングソフトをつくろう」

講師：神佐 博 先生



1. 感想

- Flash の講座についてある程度理解できました。今年度は書き換えに挑戦してみたいです。
- とてもレベルが高いのですが少人数なので、前向きな人におすすめだと思いました。
- AS3.0 について、その概要がよくわかりました。神佐先生の Flash 教材の形（プログラム、アルゴリズム）を丁寧に解説して頂いたので、今後の教材作成に活かせそうです。是非、HTML5 化して、タブレットでの利用ができるようにして下さい！
- AS3.0 について説明をして頂いたが、難しくて、なかなか理解することができなかった。しかし、最後には詳しい説明のおかげで全体的には理解することができたと思う。自分もこのような Flash を作れるようになりたいと感じた。

講座 J

PC 講座

「学校生活の流れを視覚化して、

子どもにとって見通しのもてる手立てをパソコンで作ろう」

講師：大前洋介先生、田村有佳梨先生、齋藤亜弓先生、石川文子先生



1. 感想

- わかりやすく説明していただいて、とてもよくわかりました。2学期からぜひ使ってみたいです。
- 「見通しを持って行動できることで安心感がもてる」というのは、支援の「いろは」だと思います。その意味で大切なスケジュール表の作成方法を分かりやすく教えていただけました。驚いたことは（当たり前かもしれませんが）いろんな便利なソフトが無料でダウンロードできるということで、そのすごさに、ただただ驚きました。
- ていねいに教えていただいて、とても助かりました。また、CDの中に、具体的な資料を入れていただき、持って帰ることができ、すぐに使えることができると喜んでいました。ありがとうございました。
- エクセル、知ってるつもりでしたが、便利な使い方をいくつも教えてもらいました。
- 以前からシンボル等を用いて、時間割表や予定表を作りたいと思っていました。エクセルが苦手でしたので、教えていただけで良かったです。
- エクセルでの予定表作りは、以前からやっているのですが、適当なイラストを探すのにいつも苦労していました。今日は、そのイラストをたくさん紹介していただき、お土産ももらって大満足です。有難うございました。
- 視覚支援のためのシンボルをたくさん紹介していただきました。2学期は各種行事のために予定変更が多く、私が担当する子どもたちは、見通しが持てず不安定になりがちです。今日作ったものをもとに、見通しが持てるような教材作りを、夏休み、とりくんでみます。ありがとうございました。

講座K

PC 講座「PPT 教材作成」

講師：根本 貴明 先生、大島 友子 先生



1. 感想

- パワーポイントの使い方を知ることができ、今後、教材作りにぜひ役立てたい。子どもに興味に合わせて、教材を活用していきたい。
- パワーポイントで教材を作りたかったので、大変勉強になりました。ハイパーリンクの部分が、まだ、少し難しいですが、家で復習して作ってみようと思います。
- 一人では、なかなかできないことを教えていただいたと思います。本などを見ても理解できないですが、実際にやってみるとなんとかわかりました。ありがとうございました。
- 具体的な教材例がたくさんあり、とても参考になりました。○×の×の飛ばし方にいつも迷っていたのですが、元のスライドに戻ればいいのだと納得！！すっきりしました。電車の乗り方の○×クイズは今日作ろうと思っていたのに、いいのがあったので、ありがたかったです。豪華なスタッフで手が震えました。
- ハイパーリンクの使い方を初めて知りました。教材作りが広がります。今日、たくさん紹介していただいた教材もすばらしく、すぐに活用させていただけるものばかりです。本当にありがとうございました。
- 9月以降の授業で活用したいと感じました。子どもたちの感心を引きつつ取り組める工夫のひとつになりそうです。ありがとうございました。

講座Ⅱ

PC 講座「教えて！-google先生」

講師：織田 晃嘉 先生



1. 感想

- ゆっくり検索のことについて楽しむことができました。ありがとうございました。
- Google 検索のいろいろな方法があることを知ることができて良かったです。教育現場で活用できそうな、ソフト、サイト、アプリなども紹介していただいたので、是非、生かしてみたいと思います。ありがとうございました。
- 検索の基本から教えていただき、自分の気になる検索を自由にすることができて良かったです。
- 涼しい環境で久しぶりにゆっくりネット検索を楽しみました。日頃、必要な内容しか検索することがなく、ネット情報を見ることも習慣化しているほどでもないのに、自由に検索できる時間は楽しかったです。ただ、事前に自分で（検索する目的を）準備した参加をさせてもらえたら、もう少し有効的なトキになったかもしれません。ありがとうございました。

講座M

講義「シンボルを使った教材作り（指導事例と教材作り）」

講師：榎場 政晴 先生、梅田 知恵 先生



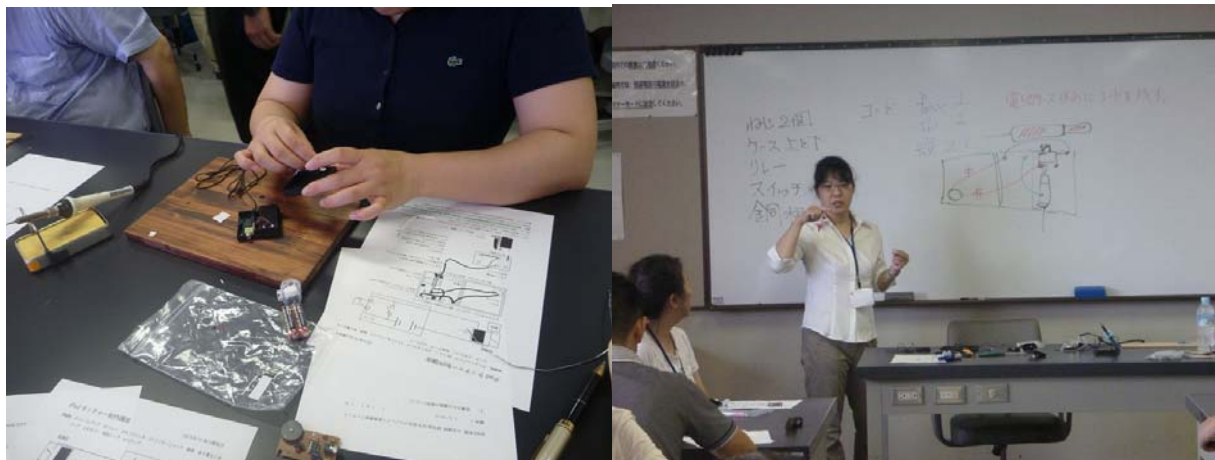
1. 感想

- シンボルについて、使用目的、シンボルを通して見通しを持った支援計画の立て方を知ることができました。絵本作成もみなさんの工夫されたのを見ることができ、とても勉強になりました。
- 著作権、シンボルのお話、知らない事ばかりで、とても勉強になりました。みなさんの作品がとても参考になりました。
- コミュニケーションにつなげる為のシンボルの使い方について、分かりやすく説明していただいたのが良かったです。何を伝えるのか子どもの状況を考えながら精選していく事が大切だと思いました。
- パワーポイントで絵本をつくる取り組みが初めての経験だったので楽しみながらできた。
- 後半から参加させていただいて、作品づくりから参加しました。参加されている先生方の作品を見せていただいたので、とても参考になりました。ありがとうございました。
- 同じ題材、素材を使ってもそれぞれ違う作品ができあがり、鑑賞できて良かった。また、持ち帰れるのも良いと思う。

講座N

製作講座「iPad タッチャーを作ろう」

講師：糸川 美和子 先生、岡本 崇志 先生



1. 感想

- 安く・手軽に iPad タッチャーを製作させてもらえて良かったです。外部スイッチを接続させて、子ども達と使ってみようと思います。
- 大変わかりやすい講座でした。材料の準備は大変だったと思います。ありがとうございました。
- iPad タッチャー製作で久しぶりにハンダ付けを体験しました。実物、または、パワーポイントで説明があればよかったと思いました。スイッチを押すと iPad の画面が反応して音がなり、すごいなと思いました。画面の反応を見て、子どもの興味関心を高めることができるよう活用したいです。
- “iPad タッチャー” 名前は知っていましたが、中の構造もわからず使うことにためらいがありました。今回、中の様子がわかり、加えて作ることもできて良かったです。
- ブログを見て、部品までは、自分でそろえていたのですが、細かい配線の仕方が分からなかったのが、今回の講座で、よく理解することができました。さすがにハンダ付けで難しい所がありましたが、最後、iPhone につなげて反応してくれた時は、とても感動！！でした。ありがとうございました。そして、暑い中のご準備もご苦労様でした。

講座〇

製作講座「タイムタイマーの製作」

講師：禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生



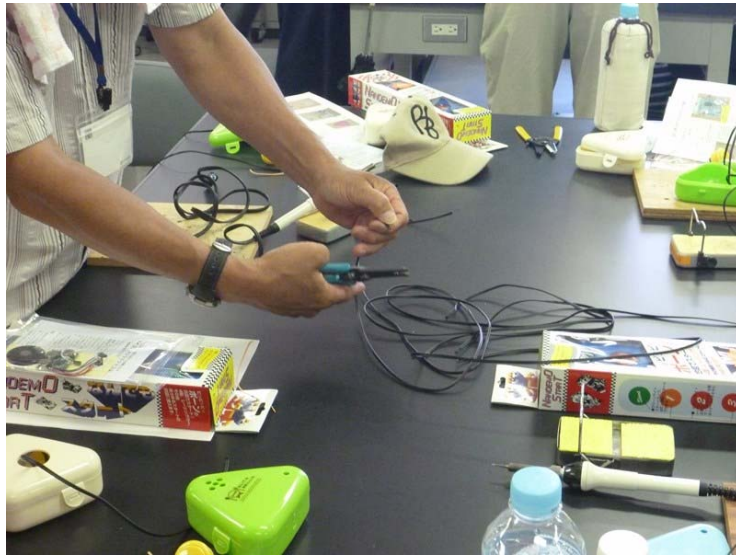
1. 感想

- とてもわかりやすく、丁寧に教えていただき、ありがたかったです。タイムエイド、ぜひ、学習で使いたいです。
- ハンダ付け等、あまり上手ではないのですが、分かり易く説明してくださり、また、丁寧に教えていただいたので、楽しくできました。
- 去年も参加しましたが、去年は講師の先生にほとんどやっていただいたような有様でした。今年は自分の力でと思って作業しました。何とか完成してよかったです。
- とてもわかりやすく説明していただき、ありがとうございました。制作だけではなく活用まで教えていただいたのは参考になります。
- ありがとうございました。手順書があって時間もたっぷりあって、ゆっくりペースで作ることができました。はんだ付けのコツ、すごく分かりやすかったです。
- とても楽しかったです。目に見えてわかるタイマーは、子どもたちにとっても、私たちにとっても見やすいので、納得できやすい代物だと思います。「我慢」ということは、すごく難しいので、これを使える子には使って試していきたいと思います。（ハンダゴテがよく分かるようになりました。ありがとうございました。）

講座P

製作講座「おにぎり型 VOCA・おにぎり型スイッチの製作」

講師：禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生



1. 感想

- 大変和やかに講座が運営されていて楽しい時間を過ごせました。学校に持ち帰り、すぐ使えるのでうれしかったです。
- 苦戦しつつも、できて良かったです。何でもスタート、さっそく使いそうな子に使います。
- 実際に作るので楽しく取り組めた。せっかく作ったので上手に活用していきたい。
- VOCA は前から作って見たかったので、作れて良かったです。外部スイッチが使えるように改造する方法が少しわかってきました。
- 2000 円でたくさんの教材が作れて大満足でした！学校の児童に使用して活用したいと思います。とても難しかったけど、作るのは楽しかったです。
- ありがとうございます。3つ作成できるかな?? ドキドキでしたが、楽しかったです。昨日、今日、ずっと「はんだ」だったので、中学ぶりの「はんだ」楽しくなりました。少し上手になったかな??と思います。教材研究、教材作りっていう過程が楽しかったりします。そして、子どもたちが使ってみて、ヒットするとうれしいんですよ！今、担任しているクラスでは、作った中で「使えるかも?」「難しいかな?」というもの、「工夫すれば…」というもの、いろいろありますが、授業作りに活かしていきたいと思います。来年も、こんな製作講座があれば参加したいと思います。
- 久しぶりに製作講座に参加して楽しかった。マジカルの方々、ありがとうございます。